

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	225環境衛生の充実		
施策のねらい (めざす姿)	市民が、清潔な生活環境で暮らしています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	市民生活部次長
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	マネージャー氏名	青木 真也

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	第2斎場の令和元年10月の供用開始に向け、既存施設の解体を完了し、新築工事に着工する。	③改革・改善内容	第二斎場を令和元年10月に供用開始する。
②①に基づく取り組み結果	一部に若干の遅れはあるが、全体的には予定どおりに工事が進捗している。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民・事業者	意図(対象をどうするのか)	市民が清潔な生活環境で暮らせるよう環境衛生の充実を進める。
②施策の概要	環境衛生保全のため、合併処理浄化槽の設置促進や狂犬病予防事業、簡易水道等の衛生対策を実施。また、市民の斎場確保のため第2斎場建設事業を進める。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢化にともなう火葬需要への対応が求められており、第2斎場の建設及び馬込斎場の火葬能力向上のための修繕等を進めていく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	馬込斎場については、斎場利用率が増加している。また、第2斎場建設事業については、令和元年10月の供用開始に向け建設工事に着工した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	生活排水処理率	%	78.8	80.2	80.5	94.2
	ii						
	iii						
③基本事業成果指標	i	し尿汲取利用者数	人	2,444	2,353	2,234	減少
	ii	単独処理浄化槽利用者数	人	20,827	19,420	19,180	減少
	iii	し尿、浄化槽汚泥処理率	%	100	100	100	100
	iv	狂犬病予防接種率	%	73.2	72.9	75.4	100
	v	四市複合事務組合斎場利用率	%	95.0	93.9	98.0	増加
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)		令和元年度予算		
事業費(千円)	374,816	470,087	(単位:円) 4,298 円		534,481		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	30年度市民意識調査では、環境衛生に関連する項目「ごみ・し尿処理」「下水や排水処理」「自然環境の良さ」は、重要・満足度の高い「満足度空間」に位置しており、引き続き現状の取り組みを推進していく必要がある。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	第2斎場についても令和元年10月の供用開始に向け、新設工事等を実施した。成果指標については、半分は達成されているものの、「生活排水処理率」は目標値に届いていないことから、左記評価とした。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	今後、馬込斎場と併せて第2斎場の管理運営に要する経費(負担金)の予算措置が必要となる。
③特に重点化する事務事業	四市複合事務組合に要する経費